



## 6. 審議内容

### 1) 番組 まちの情報箱 平成 21 年 9 月 3 日放送分について

#### (1) 事務局より番組説明

#### (2) 審議

委員長：おはようございます。本日はご出席ありがとうございます。  
前回審議会でご意見いただいた中から報告を事務局からお願いいたします。

事務局：タッキーの大平でございます。本日はありがとうございます。  
前回色々ご意見頂いた中で、タッキーしか入らない専用ラジオを箕面市が配っており、12のコミュニティセンターに設置していただきました。

2～3年前からお願いしていた事が4月下旬に実現した形になるのですが、この10月1日にタッキーが開局14周年を迎えまして、10周年を期に月に1回タッキーたんけん隊というキャラバン隊を組んで各街の中に飛び出して中継を行っているのですが、そのたんけん隊も4周年になるので、今回10月末から11月にかけて、各コミュニティセンターをまわらせて頂いて『タッキーを是非ながして下さい』という公開お約束式みたいな事をやっていこうと思っています。

月に1回まちの情報紙を発行しているのですが、その文字が大変小さくて読みにくいというお話もありましたので、今月末発行分から少し文字を拡大してボリュームもA4の見開きに変え、改善させて頂き、より読んで頂けるような構成にしましたので、出来上がりましたら皆様にもお送りしたいと思います。

お手元にお配りしている番組表ですが、春夏号までは委員の皆様にも読みにくいというご意見を頂いていましたので、少しすっきりさせたつもりですが、少し文字が小さいので申し訳ない状況になっているかと思えます。

その3点改善した点をご報告させていただきます。

委員長：いろいろ改善されたようで、ありがとうございます。  
早速、番組説明に入りたいと思います。よろしくお願いします。

事務局：今回試聴して頂きました番組は、まちの情報箱という番組です。  
毎週火曜日と木曜日の朝 10 時から放送している番組で、市民レポーターが箕面を密着取材するというコンセプトで、箕面市内でおこなわれている様々な催し物に出かけそれを取材して放送しています。今回は 8 月の末に箕面小のコミュニティスポーツクラブが立ち上がる前の設立準備委員会の皆さんが、ラジオ体操のプロを講師に招いて 2 時間ラジオ体操でたっぷり汗をかいたという催しを取材しました。

委員長：ご意見を色々頂いて、次の課題にしたいと思いますので、皆さんよろしくお願いします。

委員：おもしろいと思いました。朝の体操は瀧安寺でもしていますが、指導者がいる・いないで大きく違うので、わずか 3 分 30 秒のなかでしっかり体を動かすのはいい事なので、市内の小学校をまわられたらいいのではないですか

委員：番組を聴かせていただいて、さすがプロというか、3 分 30 秒の体操だけで 2 時間もするというのはすごいし、新しい発見があった。1 つ気になったのは、番組に関して、まちの情報箱を毎回どのような形でしておられるのかわからないのですが、目的というか効果というか、どのような意図でされているのでしょうか。こんな事をやっていますということだけで人を呼び込む為の番組でいいのでしょうか。

委員長：まちの情報箱は何かシリーズとかストーリー化して何か目的をもっているのでしょうか。また参加を呼びかける為にしているのでしょうか。

事務局：取材対象によって様々です。  
事前に催しの前にぜひ来て下さいと呼びかけをして頂く場合や、行われた物に出向いて後で報告する場合があります。

月に1回出している情報紙『まちの情報箱』とタッキーが開設しているみのおポータルサイトの『まちの情報箱』とを連動させた形でやっていて、日々箕面の地域の中で行われている事を取材して、ラジオとインターネットと情報紙で紹介していくという形で、主に箕面の皆さんの元気を伝えているというねらいでやっております。

委員長：町全体の中でおこっている事を取材しているのですね

委員：ニュース番組のようにあったことだけを伝えるのではなく、連動というお話があったので、呼びかけをしていくのが面白いと思います。

委員：ラジオ体操は3分半と言っても、実際にしてみないとわからないので、放送で半分でもいいから実際にしてみてもよかったですと思います。

委員：昔は全国的にラジオ体操の音楽が流れると自然的に体操していましたが、最近話題で取り上げられるようになったのは体操が普及してきたのでしょうか

委員：単に体を動かすのではなく、筋肉を動かすというのは聞いているだけではわからない。

委員長：最近話題性になって広まってきたところで取材をして、世に知らせてもらって、まちの情報の取り組みとしての的をえたかと思います。今が言われたように、話題性のあるところですか、ストーリー化していくのか、もう少し掘り下げてもらうことも必要かと思いますので、よろしくお願いします。

委員：コンセプトが何処にあるのか。情報箱で何を伝えたいか。  
ラジオ体操は国民なら誰でもという感覚ですごくいいので、良い所に着目されたと思いますが、着目の理由がコミスポ設立の準備会というのであれば委員の方にもう少しお話を聞いてもいいし、体操そのものを普及させていこうというのであれば、ワンポイントレッスンのようなことをHPで連動させてもいいのではないですか。

委員長：まちの情報箱を使って放送した部分をもう少し掘り下げて、発信し

てもいいですね

委員：短い時間で、参加者の話・指導者の話・企画された人の話という流れで話を聞いて、企画した人の意図も伝わってきてすごく良かったと思います。

短い時間でのインタビューなので仕方がないのかもしれませんが、演出効果なのかもしれませんが、少し誘導的な聞き方があったような気がします。

テレビのように映像で見ればすぐにわかるのですが、ラジオでは動きを言葉で伝えるのは難しいので、その辺りをどのようにしていくか、他のツールで見られるような事を考えられてはどうか。写真ではなく動画でされてもいいのではないのでしょうか

事務局：動画は少しずつチャレンジしていて、まんどろ火祭りや白島太鼓念仏講は動画でHPでながしています。ラジオの編集は14年経つのでスムーズに行くのですが、動画の方はまだこれからチャレンジしていきたいと思います。

委員：ぜひ研究して頂けたらと思います。

委員：ラジオ体操を朝出来ないでしょうかという声も聞いているので、まだまだ潜在的にしたいと思っている方のニーズも高いと思いますので、タッキーの放送がそういうのに結びついたらいいです。

委員長：ラジオは聞けるけど見せられないのが欠点で、やりとりが難しいので色々な工夫をされていると思いますが、まちの情報箱(紙)を活かして、目玉的に、反響を広げる為にも深く追求する為にもイラストをのせたり、記事をふくらませたりしてく工夫してもらえると見せる部分も出せると思うので、そんな企画も考えてもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。

事務局：はい

委員：この企画は地域を守る会が考えてしているので、皆が出来る事を皆で力を合わせてしていこうというものなので、皆さんが言われるように箕面市内に広がっていけば結構なのですが、どういう人に聞か

せたいのかを考え、放送の時間の設定をしてもらえると、もっと箕面市内に広がっていく放送・聞いてもらえる放送になるのではないかと。

レポーターの方も一緒に体操して、感想があればもうちょっとおもしろかったと思います。

あとは、皆さんがおっしゃってくださった通りで、結構な放送だと思います。

委員：まちの情報箱は、とても楽しみに見させてもらっていて、これを見てお店を訪ねたり、『こんな人がいるんだ』と思ったり、箕面の事がよくわかっていいなと思っています。ラジオはどうしても聞くだけの一方通行になるので、見るラジオのようなサブタイトルをつけて、HP・ブログ・YouTube等で動画をながしたらすごく効果があると思います。

もうひとつは、時間帯なのですが『正午になったらラジオを入れよう』のようなキャッチフレーズで、時間を決めてまちの情報箱が流れ、他の番組に連携する情報を一気に盛り込んで流してしまうというのではないのでしょうか。

委員長：今まで聞くだけのものだったのが、聞いて、見られる。見る部分をどう工夫してみなさんに発信するかが課題になってきます。インターネットやまちの情報箱(紙)を有効にどんどん広げてポイントを移していったら、皆さんのやり取りも広がってくる。体操だけで、これだけ話題がひろがるので、ただ伝えるだけでなく、箕面のタッキーが火付け役になって、全国に広めていっても面白い。市民の考えを伝え、参加協力してもらって、広めていく、そういった方向にも力を入れていってもいいのではないのでしょうか。

委員：番組がパッチワークのように細切れなので、メインテーマを決めて色々な事に連動させてもいいのではないですか。

委員長：どの町でも町おこしをしているけれど、皆が参加できることで町を売っていくのもいい

委員：ゆずキャラも出来たので、ラジオ体操のゆずバージョンをしたりして、発信したら、注目も集めるだろうし、小学校からも呼びがか

かっていいのではないか。

委員：着ぐるみは作られるんですね。

事務局：着ぐるみは、ゆずプロジェクトで作っています。  
ゆず体操…提案してみませんか

委員：番組1つ出来ますよ。

委員：毎日決まった時間をゆず体操の時間にして、振付を解説して、タッチキーから発信していくといい。

委員長：これから箕面もゆずを売っていこうとしているので、ひっつけて盛り上げていけばいい。

委員：お年寄りとお孫さんと、三世代交流でしていくといい。  
笑う事と、体を動かす事はいいことなので、普段あまり体を動かさない人を対象にしてはどうか。

委員長：提案型で、こちらが起点となってリーダーになって、ひろげていくようなことも考えて下さい。

委員：テレビのラジオ体操でも座ってするバージョンもありますよね。

委員：私もこの番組を聴いてからNHKのラジオ体操を始めました。

委員：聴きたい時に聴けるようには出来ないのでしょうか

事務局：インターネットで聴けるようにはしていません。  
まちの情報箱の再放送は夕方になっています。

委員：年配でもインターネットをしている人も増えているので、  
そういうので聴けるようには出来ないですか

委員：私は、京都のコミュニティFM局で自分の番組をもっていて、過去の番組を全部聴けるようにしているので、そんな手間ではないと思

います。

事務局：今市長のコーナーは聴けるようにしています。

委員：反応の良かったものを聴けるようにするのは、そんなに難しい事ではないと思います。

委員：HPの動画の所をよく見るのですが、音だけだと聴くのもしんどいので、動画があるといい。ユーチューブとかもアクセスがたくさんあるので、うまく利用したらいいと思います。

委員長：出来る所から徐々にしていただければいいと思いますのでよろしく  
お願いします。  
意見も色々でてきましたので、他の番組についてもご意見願います。

委員：議会の中継はどの程度話が進んでいるのかわらないのですが、今動画の話も出たので、それを流すのはどうでしょうか？

事務局：今現在は一般質問のみを録音放送しているのですが、インターネットでオンデマンド放送をする場合の予算案を1月に議会事務局に提出しました。議会改革の中で検討されているのですが、インターネット中継・インターネットオンデマンド放送にはお金がかけられないのでできないというお話がありました。

委員：議会の放送をしてもらいたくて、外郭団体にも行きましたし、前向きに進んでいると思っていたのですが・・・

事務局：お金はかけられないと言う結論に達したと聞いています。

委員：タッキーとしてそういうところにお金をかけるのは？

事務局：最低コストを提案したのですがそれすらかけられないということでした。

委員：職員が撮影して、画像を流しているだけで、年間のメンテの費用を

含めて100万ぐらいでしているところもあれば、すべてお任せで、5000万というところもあります。

委員：これからゼロプランや緊急プラン等、予算面の非常に厳しい話が出てくるので、一般質問もいいのですがその時々予算案の審議を生放送で流してもらえると、市民も納得できるので、放送で流して欲しいのですが、議会がそういう判断ならしょうがないですね。

委員長：行政の方も施策している時期で非常に厳しいと思うので、また折を見て出来ることがあればお願いします。

事務局：1つ私の方からよろしいでしょうか

日頃から、タッキー816を災害の時に聞いてもらいたい、という事で行っているのですが、先日台風第18号が大阪に接近した時に、10月8日の未明だったのですが、早い段階で箕面市が災害対策本部を設置したので、夜中災害対策本部にはりついて、箕面市役所の6階に緊急割り込み装置があるのでそこから1時間ごとに箕面市内の災害の最新状況を流しました。幸い大きな被害はなく、避難所が5ヶ所設置された事と街路樹とかの倒木の影響と撤去の状況等を1時間おきに放送したのですが、初めての試みで、市長が変わってから、災害対策本部の中にタッキーを入れていただける状況ができたので、今後は災害対策本部が設置された時はタッキーのスタッフが本部にはりついて、情報を発信していく体制を組んでいきたいと思っています。また、必ず災害対策本部が設置された時には1時間もしくは30分ごとにタッキーから情報が流れるという事も発信していきたいし、同時に箕面のポータルサイトでも放送した内容を文字で箕面ニュースの中に載せていったので、いい勉強にもなったので今後も続けていければと思うのですが、色々課題もあって、先ほど説明があったように、委託料が減らされていくなかで、どれだけスタッフを確保してその体制が組めるかという大きな課題もありますので、ぜひ委員の皆様にもお知恵を拝借させていただきたいと思います。

委員長：実績をつまれたのは貴重ないい事なので、それを足がかりにして市に働きかけていくのもいいことです。助成金補助金が減らされているなかで、逆に市民の皆様の要求も増えてきて、経費が必要なのに

減らされていて、矛盾している中でのやりとりは大変だと思うのですが、こういった形で行政等とのやりとりが出来るのかと言う所も聞かせて頂いて、各々出来る事をさせて頂くことも徐々に必要かと思っているのですが、よろしくお願いします。

委員：予算カットの中でどう確保していくか。

活動を広げようと思ったら市民の方にどう評価してもらうかだと思うので、している事を知ってもらうことが必要で、事前に情報をキャッチして番組を聴いてもらう為に、メルマガ会員を広げて行って、市民の皆さんに理解していただいて、応援団になってもらうのも大事な思いました。

委員：メルマガの発信件数は？

事務局：300件弱です

委員：ペースはどのくらいですか？

事務局：週に1回

事務局：今回災害対策本部にはりついたのは今後の事も色々考えられるかと思って、試みとしてやってみました。たくさん色々な事も見えたので、今後にかせると思います。

14年間の中で、一昼夜したのは初めてです。

委員：割り込み放送は、本来は消防署の方が実際の番組に割り込んでくる形だと思うのですが、タッキーがされたのですか

事務局：割り込み放送の装置は、消防と箕面市にあるので、箕面市役所の方の機材でした。本当はスタッフがいれば、スタジオと災害対策本部とを結んで普通の音質で放送が出来たと思うのですが、音楽の番組を切って割り込む形でしたので、音質的には悪かったと思います。スタジオを結んでするのが理想なのですが、そのためにはスタッフが2人必要になります。

委員：実際に災害時に役立つようにしていくのは一番大事な事で、緊急の

課題だと思うので予算投入を市とも交渉して頂きたいし、日頃からリスナーを増やしていく努力は私たちもしていきたいです。

委員長：災害時に力を発揮するのが一番で、社長も当初からその部分を大きくかかげて、働きかけているのですが、いいチャンスなので市(行政)や市民にアピールしてください。

この場所は、番組を審議する場なのですが、番組以外の事でもいろんな情報を聞かせてもらえれば、発展的になっていくと思いますので、色んな意見を頂きたいと思いますのでよろしくお願いします。

委員：番組を聴いてもらう以前にタッキーを知ってもらわないといけないと思います。メルマガ300では少ないと思うので、増やす為にボランティアの力を借りて入力や作業や集める作業をしてもらうとかして、発信力の強化をしてほしい。

努力されているので、実が結ぶように・・・

委員：勤務時間の中でしか放送を聴けない人もいて、メルマガでチェックする人も多いので、ネットワークの中で発信して広げていく事も可能かと思うので、協力します。

委員長：タッキーの応援団はあるのですか？

委員：お互いに応援しましょうという もっとネット会議 があります。NPO フェスタの時に紹介したいと思います。

委員：動かす為に色んな仕掛けをして下さい。

委員：300というのはどのような内訳ですか？団体とか？

事務局：個人の方です。あと議員の方にもお送りしています。

委員長：他の番組について他に何かありましたらお願いします。

委員：お料理の番組がありましたよね

聞き逃した場合、料理のレシピを知ることは出来ますか？

事務局：ブログで紹介することもありました。

委員：番組表のあいている部分にイラストとか写真が入る予定は？

事務局：今回はシンプルにしたかったのですがいかがでしょうか？

委員：選ぶのも大変なのでしょうが、目玉的に聴いて欲しい番組を吹き出しで目立つようにすればと思うのですが、それも今回は無しにしているのですね。

事務局：今回はそうです。うりの番組とコーナーをオレンジに色をつけました。

委員：文字だけだと見るのもつらいので、お天気・交通・ニュースをマークにして見やすくしてもいいのではないですか。情報を盛り込みたいと思った時に、文字だけだとかえって見えなくなってしまうと思う。

事務局：前回の番組表がゴチャゴチャしているというご意見があったので、シンプルにしたのですが、シンプルになりすぎたでしょうか

委員長：次回また工夫してみてください。

委員：何部すって、どこに置いているのですか

事務局：8000部を箕面市内60ヶ所の公共施設などに置かせていただいているのと、後援イベントの時に配って頂いたりしています。

委員長：番組表は大事です。

私は決まった時間しか聴いていないのですが、聴いていると気持ちも通じてきます。時間のある時などはスタジオを覗いたりもするのですが、もっと身近に感じてきますので皆さんも覗いてみてください。

他に何かありませんか。

無いようですので、これで終わりたいと思います。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 21 年 10 月 16 日

みのおコミュニティ放送株式会社

番組審議会